

令和2年12月28日

## クレジットカード不正利用被害の集計結果について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会（会長 山本 豊）は、クレジットカードの不正利用の実態を明らかにするため、クレジットカード発行会社を対象としたクレジットカード不正利用被害実態調査を継続的に実施しており、このたび、2020年第3四半期（7月～9月分）の集計値をとりまとめました。

これによると、今四半期の不正利用被害額は59.1億円で前期比（2020年第2四半期（4月～6月））では1.2%の増加、不正利用被害額に占める偽造被害額は1.2億円で横ばい、番号盗用被害額は54.1億円で1.7%の増加、その他不正利用被害額は3.8億円で5%の減少となりました。

なお、前年同期（2019年7月～9月）の不正利用被害額は68.0億円であり、前年同期比では13.1%の減少となりました。

また、2020年の同調査の一部の構成比に誤りがありましたので、ここにお詫びして訂正させていただきます。なお、被害額の数値に訂正はございません。

※ 詳細は、「別紙 クレジットカード不正利用被害の発生状況」を参照してください。

◎お問い合わせは下記までお願いいたします。  
一般社団法人日本クレジット協会 業務企画部  
〒103-0016 中央区日本橋小網町14番1号  
住生日本橋小網町ビル  
TEL 03-5643-0011

投稿先：東商記者クラブ・日銀記者クラブ